

オンライン朝会「たんきゅう」6/12

これは、入学式や始業式でもお見せしたカラクリ箱です。覚えていますか？今日は、「？」「！」のお話をします。

総合的な学習の時間を中心に、生活科や理科・社会など、いろいろな授業で「なぜだろう？」「どうしてかな？」「ふしぎだなあ」と思うことを、調べたり、実験したり、観察しながら、「？」を「！」にしていると思います。

それを難しい言葉ですが、「課題解決」とか「問題解決」あるいは「探究」と言います。

この写真は、6年生の日光移動教室の一場面です。5年生でもハヶ岳移動教室に行きますね。ハヶ岳の自然体験、日光の東照宮、ハイキング、日光彫り、それぞれの専門家に案内していただいたり、お話を伺ったりしながら、たくさんの「？」を「！」にしてきました。

それは、本やネットで調べたり、詳しい人に聞いたりするだけでは、きっと解決しないことです。実際に自分で体験したり、研究したりして、はじめて「！」となります。

日光で訪問した「両棲類研究所」では、たくさんの両生類&爬虫類が展示されています。所長さんは、様々な「？」を「！」してきた研究者です。とくに「再生」の博士です。

両生類のイモリなどは、手足やしっぽが切れても、元に戻ることを知っていますね？そのことを「再生」と言います。すごい能力です。もし、人間もイモリのように再生できたらすごいですね。でも、誰も、そんなことは考えません。はじめから無理だと思っているからです。



しかし、ここの所長さんは違いました。「できるかもしれない！」と考え、研究に研究を重ね、両生類の再生を、世界で初めて、人間でも実現させ、人間の目の水晶体や網膜を再生させることに成功しました。そして、数多くの人々を失明の危機から救ってきました。

今、みなさんが学習している「探究」も、もしかしたら、こういうことにつながるかも知れません。

だれも「？」と気付かなかったことを、「？」とすることから「探究」が始まります。

『ふじみ探究ノート』を活用して、探究していきましょう。

